



平成28年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年6月6日

上場会社名 株式会社アイル

上場取引所 東

コード番号 3854 URL <http://www.ill.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小倉 直子 TEL 06-6292-1170

四半期報告書提出予定日 平成28年6月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年7月期第3四半期の連結業績（平成27年8月1日～平成28年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年7月期第3四半期	5,555	14.1	190	34.4	202	28.2	135	676.1
27年7月期第3四半期	4,867	△3.0	141	△72.1	157	△69.4	17	△93.7

(注) 包括利益 28年7月期第3四半期 144百万円 (355.7%) 27年7月期第3四半期 31百万円 (△88.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年7月期第3四半期	21.58	ー
27年7月期第3四半期	2.79	2.78

(注) 28年7月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在していないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年7月期第3四半期	4,839	1,898	39.2
27年7月期	3,887	1,847	47.5

(参考) 自己資本 28年7月期第3四半期 1,898百万円 27年7月期 1,846百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年7月期	ー	0.00	ー	15.00	15.00
28年7月期	ー	0.00	ー		
28年7月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年7月期の連結業績予想（平成27年8月1日～平成28年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	13.7	325	0.1	339	△3.2	258	101.9	41.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年7月期3Q	6,260,714株	27年7月期	6,256,000株
② 期末自己株式数	28年7月期3Q	一株	27年7月期	286株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年7月期3Q	6,256,845株	27年7月期3Q	6,246,530株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年8月1日～平成28年4月30日)におけるわが国経済は、中国やアジア新興諸国の景気の下振れ等による海外経済不安はあるものの、国内経済においては、雇用、所得環境の改善も続いており、緩やかではありますが回復基調は続いております。

当社グループが属する情報サービス業界においても、企業業績の改善傾向もあり、ソフトウェアに対する投資も緩やかな増加傾向にあります。しかしながら、現在のソフトウェア投資には、従来の業務効率の改善はもちろんのこと、販売力及び競争力強化を含めた、企業業績の向上を実現する付加価値の高い提案が一層求められております。

このような状況のもと、当社グループは、ITの有効活用が必要な中堅・中小企業顧客の経営課題を解決するための商材を「リアル」と「Web」の両面から開発・提案し、顧客の企業力強化を図ることを「CROSS-OVER シナジー」戦略とし取り組んでまいりました。

「CROSS-OVER シナジー」戦略は、当社グループが提唱してきた独自の提案スタイルで、「リアル」と「Web」それぞれの商材を複合的に提案することで、顧客の業務効率と販売力強化を実現するものであり、当社グループにとって商談時の競合力を強化するだけでなく、顧客満足度も向上させるものであります。この戦略効果により、当社グループが重視するストック型ビジネス商材の販売実績が大きく伸長し、利益体質の強化が図られております。

販売実績につきましては、「リアル」面では、主力のパッケージソフトウェア「アラジンオフィス」の商品力の強化を、業種別に継続して進め、販売面でもパートナー企業との連携に加え、東京、大阪、名古屋において「アラジンオフィス」の業種別セミナー及び展示会を開催し、豊富な業種別の導入事例をもとに顧客毎に最適なシステム活用方法をご提案させていただくことで、販売実績も順調に推移しました。「Web」面では、複数ネットショップ一元管理ソフトである「CROSS MALL」について、新たなショッピングモールとの連携開発を継続して取り組み、当四半期では、テモナ株式会社が提供する、定期購入・頒布会に特化した通販システム「たまごリポート」との連携をはじめ、複数モールとの連携機能強化を行いました。既存の顧客から機能面における要望を収集し、迅速に新機能として反映させることで、商品力を向上させ販売実績を伸ばしました。また、ネットショップと実店舗のポイント・顧客一元管理ソフトである「CROSS POINT」は、低コストで購買履歴の把握までも可能にし、スマートフォンをポイントカードとして利用できる機能等を開発したことも評価され、継続して販売実績を伸ばしております。

当四半期も、継続して製品の開発に注力しており、その為の積極的な人員強化を行いました。その結果、開発費用、人件費等が増加しましたが、将来の先行投資として、今後も開発力の強化に取り組んでまいります。また、大阪本社に移転に伴う、一時的なコスト増加はありましたが、概ね計画通りの利益を計上することが出来ました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高5,555,323千円(前年同期比14.1%増)、営業利益190,357千円(前年同期比34.4%増)、経常利益202,491千円(前年同期比28.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益135,043千円(前年同期比676.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べて951,429千円増加し、4,839,106千円となりました。その増加の主な内容は、受取手形及び売掛金300,081千円、のれん21,243千円等が減少したものの、現金及び預金708,680千円、仕掛品210,854千円等が増加したことによります。

また、負債合計は、前連結会計年度末と比べて899,936千円増加し、2,940,394千円となりました。その増加の主な内容は、未払法人税等33,586千円、本社移転損失引当金15,734千円等が減少したものの、1年内返済予定の長期借入金130,008千円、長期借入金639,992千円等が増加したことによります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて51,492千円増加し、1,898,712千円となっております。その増加の主な内容は、剰余金の配当93,835千円等による減少があるものの、親会社株主に帰属する四半期純利益135,043千円等により増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね当社グループの予想範囲内にて推移しており、平成28年7月期通期業績予想につきまして、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
重要な子会社の異動はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

当第3四半期連結会計期間において、一部の事業所の原状回復等に係る債務を合理的に見積ることが可能となったことにより、見積りの変更に伴う増加額31,298千円を新たに資産除去債務として計上しております。なお、当該見積りの変更により当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	851,094	1,559,775
受取手形及び売掛金	1,161,295	861,214
商品	149,298	144,321
仕掛品	493,241	704,096
繰延税金資産	84,010	110,903
その他	48,767	58,932
貸倒引当金	△7,114	△5,161
流動資産合計	2,780,594	3,434,081
固定資産		
有形固定資産	97,010	305,637
無形固定資産		
のれん	28,325	7,081
その他	505,991	533,468
無形固定資産合計	534,317	540,550
投資その他の資産		
繰延税金資産	162,882	146,728
その他	324,837	424,083
貸倒引当金	△11,966	△11,975
投資その他の資産合計	475,754	558,836
固定資産合計	1,107,081	1,405,024
資産合計	3,887,676	4,839,106
負債の部		
流動負債		
買掛金	281,534	278,888
1年内返済予定の長期借入金	40,000	170,008
未払法人税等	133,468	99,881
賞与引当金	31,500	126,000
製品保証引当金	22,319	36,015
本社移転損失引当金	78,674	62,939
その他	904,665	820,969
流動負債合計	1,492,161	1,594,702
固定負債		
長期借入金	—	639,992
退職給付に係る負債	474,681	521,377
役員退職慰労引当金	63,088	92,387
資産除去債務	10,525	91,934
固定負債合計	548,296	1,345,691
負債合計	2,040,457	2,940,394

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	353,887	354,673
資本剰余金	318,887	319,673
利益剰余金	1,190,591	1,231,721
自己株式	△78	—
株主資本合計	1,863,288	1,906,069
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△16,491	△7,357
その他の包括利益累計額合計	△16,491	△7,357
新株予約権	422	—
純資産合計	1,847,219	1,898,712
負債純資産合計	3,887,676	4,839,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年4月30日)
売上高	4,867,599	5,555,323
売上原価	2,966,750	3,464,138
売上総利益	1,900,849	2,091,184
販売費及び一般管理費	1,759,234	1,900,827
営業利益	141,615	190,357
営業外収益		
受取手数料	10,903	11,875
その他	7,015	1,788
営業外収益合計	17,919	13,664
営業外費用		
支払利息	1,563	1,529
その他	9	—
営業外費用合計	1,572	1,529
経常利益	157,962	202,491
特別利益		
移転補償金	—	80,550
特別利益合計	—	80,550
特別損失		
固定資産除却損	4	900
本社移転損失引当金繰入額	78,674	—
特別損失合計	78,679	900
税金等調整前四半期純利益	79,282	282,141
法人税、住民税及び事業税	102,440	162,424
法人税等調整額	△40,558	△15,326
法人税等合計	61,881	147,097
四半期純利益	17,400	135,043
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,400	135,043

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年4月30日)
四半期純利益	17,400	135,043
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	14,237	9,134
その他の包括利益合計	14,237	9,134
四半期包括利益	31,638	144,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,638	144,178
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。